

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[要件](#)

[表記法](#)

[使用するコンポーネント](#)

[得ます IAC UI SDK \(xwt iacx.y.z src.zip \) を](#)

[Windows](#)

[Linux](#)

[IAC UI SDK の構築](#)

[例](#)

[構築された xwt iac プロジェクトのインストール手順](#)

[Windows パス例](#)

[Linux パス例](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco IAC 4.1 は高拡張可能な製品です。 サービス、プロセスおよびユーザインターフェイスはスイート配備仕様必要条件に拡張およびカスタマイズされてかもしれません。

一貫したルックアンドフィールを Cisco IAC 製品に与える IAC 仕様拡張を用いる Cisco IAC 4.1 ユーザインターフェイス使用 Cisco プライム記号 UI XWT ツールキット。 この資料に説明があったツールおよびプロセスはあなた自身の顧客 ユーザインターフェイスの Web アセットを圧縮し、ページ読み込み時間を短縮し、帯域利用率を減少させるために最適化します。

はじめに

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

確かめ始める前に Cisco IAC 4.1 またはそれ以降がであることをインストールされ、サポート対象バージョンで設定され、動作します (または詳細については Cisco Intelligent Automation for Cloud 互換性 マトリックスを参照して下さい) 。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

使用するコンポーネント

Cisco IAC UI SDK は Java SDK および Apache Maven を使用します。

JAVA_HOME 環境変数を含まれています Java SDK がインストールされている位置が確認して下さい。 Java Development Kit は www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.htm からダウンロードすることができます。

- Java Development Kit (JDK) 1.6 はまたはそれ以上にことを PATH変数の JAVA_HOME の binディレクトリ確かめ。 Windows 例: JAVA_HOME= C:\Program Files\Java\jdk1.7 .0_45 を設定して下さい Path=%JAVA_HOME% \binを設定して下さい; %Path%Linux 例: エクスポート JAVA_HOME=/usr/lib/jvm/jre-1.7.0-openjdk.x86_64/エクスポート PATH=\$JAVA_HOME/bin: \$PATH

Cisco UI SDK は Maven 3.0.5、3.1.1 および 3.2.2 とテストされました。 Maven パッケージをコンピュータに得、得られたパッケージの binディレクトリに PATH変数を設定して下さいそうすればフルパスを入力しないで mvn コマンドを実行できます。

- Apache MavenWindows 例: セット Path=%Path%; c:\Program Files\apache -maven-3.2.2\binLinux 例: エクスポート PATH=\$PATH:~/apache-maven-3.2.2/bin
- プロキシコンフィギュレーションでの Maven settings.xml の作成Maven は自動的に UI を構築するために必要なプラグインおよび依存関係をダウンロードします。 プロキシが公衆インターネットにアクセスするように要求しない場合それ以上の設定が必要となりません。 プロキシがプロキシ情報を定義する公衆インターネットを離れて項目をダウンロードするように要求する場合 settings.xml ファイルを作成して下さい。 拡張設定が必要となるとき settings.xml が Maven の動作を設定するのに使用されています。 テンプレート settings.xml は CONF の下の Maven インストール ディレクトリにとしてあります:

[得ます IAC UI SDK \(xwt iacx.y.z src.zip \) を](#)

ZIP ファイルのコンテンツは一度得られた xwt iac と呼ばれたディレクトリに x.y.z が Cisco インストール済み IAC バージョン番号であるところにあります。 dist.pom.xml が抽出の後にそこにあることをまた確かめて下さい。

[Windows](#)

ZIP にされたファイルを、Windowsエクスプローラの xwt iacx.y.z src.zip、見つけて下さい。 > 上メニューからの「抽出すべて」 『File』 をクリックし、Windowsエクスプローラ抽出ウィザードウィンドウに続いて下さい

[Linux](#)

xwt iacx.y.z src.zip を解凍して下さい

[IAC UI SDK の構築](#)

1. cd xwt iac
2. mvn [- settings.xml> への s <path] [- Dmaven.repo.local=.repository] - f dist.pom.xml パッケージ

オプションの説明

- - settings.xml> への s <path: settings.xml がプロキシ 設定を行うように要求する場合 (オブ

シヨンの) settings.xml にパスを規定して下さい。

- - Dmaven.repo.local=.repository: (オプションの) Maven は UI を構築するときプロジェクトの依存関係および maven プラグインをダウンロードします。このオプションはこれを制御することを望んだ場合どんなディレクトリそれらのファイルがにダウンロードされるか述べています。デフォルトの動作は .m2/repository のホーム ディレクトリにそれらをダウンロードすることです
- - f dist.pom.xml: (必須) maven ビルド スクリプトへのパス
- パッケージ: (必須) 動作するべきビルド ターゲット。

例

```
cd c:\source\xwt - iac
```

```
mvn - s c:\source\xwt - iac \ settings.xml - Dmaven.repo.local= c:\source\xwt - iac \リポジトリ- f dist.pom.xml パッケージ
```

構築されたパッケージはターゲット\xwt-iac.zip にあります

構築された xwt iac プロジェクトのインストール手順

xwt iac パッケージ 内容は custom/IAC の中の展開された RequestCenter.war に得る必要があります。このパッケージをインストールする前にこのディレクトリのバックアップを作成して下さい。

Windows パス例

```
C:\CiscoPrimeServiceCatalog\jboss-as-7.1.1.Final\RequestCenterServer\deployments\RequestCenter.war\custom\IAC
```

Linux パス例

```
/opt/cisco/cpsc/jboss-as-7.1.1.Final/RequestCenterServer/deployments/RequestCenter.war/custom/IAC
```

関連情報

- [Cisco Intelligent Automation for Cloud](#)